

事業所名 多機能事業所シンパ

支援プログラム

作成日

2025年

12月

1日

法人（事業所）理念	1.児童の未来を考えた療育を提供する。 2.利他精神、常に誰かを気にかけ手を差し伸べる。 3.児童が安心・安全と思える居場所になる。 4.福祉から笑顔を届ける。						
支援方針	未就学児（3～8）才の児童を中心とした、児童発達支援。5領域を踏まえ、各個人に合わせた個別評価・支援を提供。家庭内・保育所等と連携し、問題行動の対策、改善案を指南。身体を動かしつつ、学習への集中力向上を図る運動療育を実施していく。						
営業時間	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
本 人 支 援	支 援 内 容						
	健康・生活	健康状態の把握、生活のリズムや生活習慣の形成を行いながら基本的生活リズムを身に付けられるように支援する。 長時間の利用となる場合には、昼食を利用して食育を実践する。					
	運動・感覚	専門職（理学療法士等）が日常生活に必要な基本動作（姿勢保持・上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得）を適切に評価し、支援内容を立案し実践する。					
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用して、必要な情報を取集して認知機能の発達を促す。 環境からの情報を習得し、必要なメッセージを選択し、行動につなげる認知過程の発達を支援する。					
	言語 コミュニケーション	具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により体系的な言語の習得、自発的な発生を促す支援を行う。					
家族支援	人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担をしたりルールを守って遊ぶ共同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。			移行支援	保育園やこども園と本人の状況や支援内容等の情報を共有する。		
地域支援・地域連携	当所での様子を伝えるとともに、家庭での様子を聞き取り情報交換するとともに、不安への助言を行ふ。			職員の質の向上	職場内外研修		
主な行事等	地域で適切な支援を受けられるよう関係機関等と連携をはかる。 進級祝い 七夕祭り ハロウィン クリスマス会 豆まき ひな祭り お別れ会 誕生会 川遊び 近隣散策 戸外活動						